ＳＯＳの出し方に関する教育　授業案⑥（特別支援）

対象学年：特別支援学校の児童生徒

ねらい　：様々な不安やストレスを抱えたとき、どのような気持ちになるのかを理解するとともに

それらを対処する方法を練習することを通して、相談も含め、適切な行動をとることができる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動・内容 | 留意点・スライド番号 |
| 導入５分 | １　本時のねらいを確かめる。〇〔スライド２〕を示しながら、それぞれどのような気持ちでいるか想像する。きもちがもやもやするとき、どうしたらよいか考えよう。 | ・〔スライド２〕・〔スライド３〕 |
| 展開35分 | ２　自分の心を見つめる。〇心がもやもやするのはどのようなときか自分の経験を思い出し、【ワーク①】に書く。　・友達とけんかをしたとき。　・おうちの人に怒られたとき。　・自分のやりたいことがやれなかったとき。〇もやもやを感じたときにどのようにしたらよいか【ワーク②】に書く。　・歌を歌う。　・ゲームをする。　・しっかり寝る。〇イライラすることが悪い訳ではなく、イライラした気持ちを周囲にぶつけてしまうことが問題であると伝える。〇もやもやしたりイライラしたりしたとき、誰かに相談する方法があることを伝え、自分の周りで相談できる人を【ワーク③】に書く。 | ・〔スライド４・５〕＜補足＞　　発表させたりグループで交流させたりして自分もみんなも同じような経験や体験があることを共有する。・〔スライド６・７〕・〔スライド８・９〕・〔スライド８～１２〕＜補足＞　　もやもやもイライラも生活の中でよく起こることであること、誰かにその気持ちをぶつけると悲しい気持ちになることを、具体的な場面で説明する。 |
| ３　「こまっている」「はなしをきいてほしい」「たすけてほしい」など、具体的なＳＯＳの出し方・セリフを示し、必要に応じて場面ごとに練習する。　〇具体的な場面を想定し、一人ひとりロールプレイングを行う。〇やってみて感想を伝えたり、見ていた仲間から評価をもらったりする。　 | ・〔スライド１３〕＜具体的場面の設定例＞　〇友達に嫌なことを言われたとき　〇給食のおかずがこぼれたとき。　〇友達からしたくない遊びに誘われたとき。 |
| 終末５分 | ４　本時のまとめをする。〇【ワークシート】に感想をまとめる。 | ・〔スライド１４〕 |